

教科(科目)	地理歴史(日本史B)	単位数	3	学年	2年文系
使用教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社)				
副教材	『最新日本史図表 三訂版』(第一学習社)				

1 学習目標

わが国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、わが国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ・歴史の流れを大切にし、日本史の全体像を理解させるようにつとめる。
- ・各時代における諸地域との衝突と交流の両面から考察し、グローバルな視点から世界の歴史を理解できるようつとめる。
- ・基礎・基本的な事項の定着をはかり、自ら主体的に課題に追求する態度を養う。
- ・歴史的思考力を育て、歴史地理的観点を身につけさせるため、資料(写真・図版など)を積極的に活用する。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法
4	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	教科書 資料集	・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器・縄文時代の社会を理解する。 ・弥生文化の特色や小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。	9	授業への取り組み 小テスト
5	3. 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道	教科書 資料集	・統一国家形成の過程を古墳の変容や東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ・ヤマト政権の観力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ・律令国家成立に至る政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。	9	授業への取り組み 定期考査
6	3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	教科書 資料集	・奈良時代の律令体制の状況や平城京における政治動向について考察する。 ・天平文化を政治性・国際性・国家仏教などに着目して理解する。 ・平安前期の古代国家の推移と律令体制の変質について考察する。	12	授業への取り組み 小テスト
7	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	教科書 資料集	・摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 ・地方統治体制の崩れとその影響、武士の成長と進出過程について考察する。	11	授業への取り組み 定期考査
8・9	第4章 中世社会の形成 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会	教科書 資料集	・院政期の政治・経済・社会を理解する。・平氏政権の特性を考察する。・鎌倉幕府の全国的な支配権を確立する過程を理解する。・承久の乱による公武関係の変化や執権政治確立に至る過程を考察する。・武士の生活や地方支配について理解する。	12	授業への取り組み 小テスト
10	4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化 第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立	教科書 資料集	・蒙古襲来が幕府の衰退につながっていくことを理解する。・庶民や武士の活動が活発化し、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について考察する。	11	授業への取り組み 定期考査
11	2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	教科書 資料集	・幕府の動揺や下克上の風潮を考察する。・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえ、中世社会の多様な展開を理解する。・室町文化について理解する。・応仁の乱を契機に登場した戦国大名について、諸地域の地理的条件と関連付けて考察する。	11	授業への取り組み 小テスト

12	第6章 幕藩体制の確立 1. 職豊政権 2. 桃山文化	教科書 資料集	・大航海時代という世界史的背景を踏まえてヨーロッパ人の東アジア進出とその影響を考察する。・職豊政権の特色と意義、その後の影響について考察する。 ・桃山文化について、時代背景を踏まえて考察する。	6	授業への取り組み 定期考査
1	3. 幕藩体制の成立	教科書 資料集	・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・鎖国政策について、その後の貿易関係も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	6	授業への取り組み 小テスト
2	4. 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定	教科書 資料集	・幕藩体制確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から多面的・多角的に考察する。 ・江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	6	授業への取り組み 定期考査
3	2. 経済の発展 3. 元禄文化	教科書 資料集	・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について考察する。 ・元禄文化について、経済発展や町人の社会的台頭、幕藩体制の安定と関連付けて理解する。	3	授業への取り組み 小テスト

合計時数×1.1／単位数＝ 35 計 96 時間(55分授業)

4 課題・提出物等

- ・提出物および、長期休業中の課題は別途指示します。
- ・ノート点検は各定期テスト後に行います。

5 評価基準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	わが国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、わが国の伝統と文化の特色について認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	わが国の歴史展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	わが国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に着けている。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業中の学習への取り組み(授業態度、発問への対応、課題への取り組み)
 - ・課題やレポートの内容や提出状況
 - ・小テストや定期テスト
- などから総合的に判断します。

6 担当者からの一言

歴史は、ただ過去を知るための科目ではなく、現在そして未来を築いていくためのヒントを学ぶことのできる科目だと考えています。そのためには、歴史的な出来事だけではなく、その背景やその後の影響、歴史的意義に着目することが必要です。歴史的な事象について「なぜそれが起きたのか」、「その後どのような影響を与えたのか」などの様々な疑問を持ちながら学習しましょう。